

令和3年度全国学力・学習状況調査における柏市の調査結果の概要

柏市立教育研究所

実施の状況

対象；柏市立小学校第6学年 3651人

柏市立中学校第3学年 3077人

柏市の今年度の結果

各調査の平均正答率及び標準化得点は下表のとおりです。

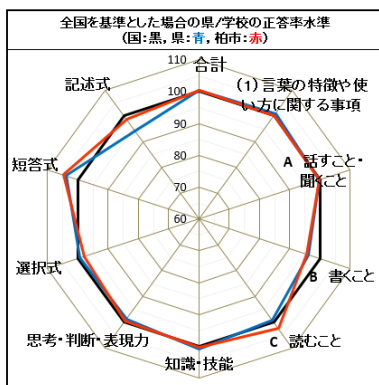
「標準化得点」とは、柏市の平均正答率を、全国平均正答率を100として換算した値です。全国と柏市の学力の状況を比較する際に、平均正答率を使用すると調査年ごとの問題の難易度の差により経年の比較が難しくなるため、標準化得点という指標を使用しています。

		小学校		中学校	
		国語	算数	国語	数学
全国 (R3)	平均正答率	64.7	70.2	64.6	57.2
柏市 (R3)	平均正答率	65	70	66	58
	標準化得点	100	100	100	100
柏市 (R2)	標準化得点	100	99	99	99

コロナによる休校の学力への影響について、平均正答率や標準化得点からは、相関が見られません。

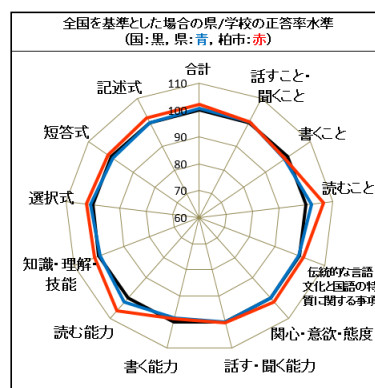
教科の傾向

【小学校 国語】



- 目的や意図に応じて、資料から話す内容を捉えることができる。
- 思考に関わる語句の使い方を正しく理解している。
- 文章から問われていることを見つけることができるが、設問の条件に合うように記述することに課題がある。
- 記述式問題では、無解答率が全国平均より高い問題が2問、低い問題が2問ある。

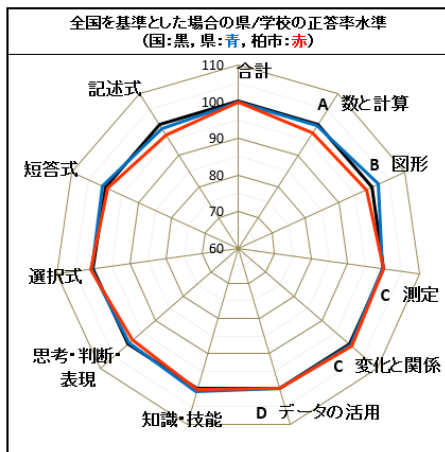
【中学校 国語】



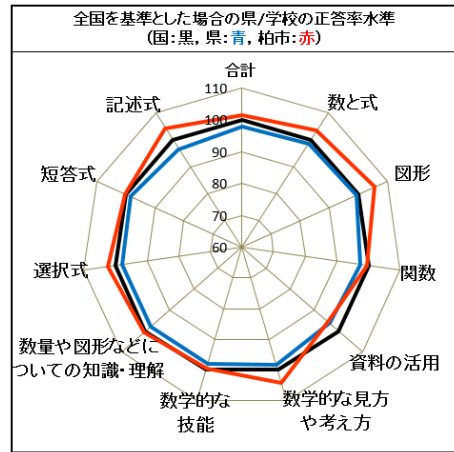
- 語句の意味や漢字の読みや書きについての正答率が全国平均より高い。
- 話し合いの話題や方向を会話文から捉えることができる。
- 設問の条件に合うように解答を記述することに課題がある。
- 記述式問題では、無解答率が全国平均より高い問題が2問、低い問題が1問、同等な問題が1問ある。

児童生徒が文章から読み取ったことや、自分の考えをまとめることがよりできるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える指導に努めます。

【小学校 算数】



【中学校 数学】



- 設問の条件に合う時刻を求めることができる。
- 棒グラフについて、項目間の関係、特徴を読み取ることができる。
- 基準量を1としたときに比較量がいくつになるかを求めることに課題がある。
- 記述式問題では、無解答率が全国平均より高い問題が3問、同等な問題が1問ある。

- 具体的な事象の中に数量の関係を見出すことができる。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。
- 関数や相対度数の意味理解を問う問題に課題がある。
- 記述式問題では、無解答率が全国平均より高い問題が2問、低い問題が1問、同等な問題が2問ある。

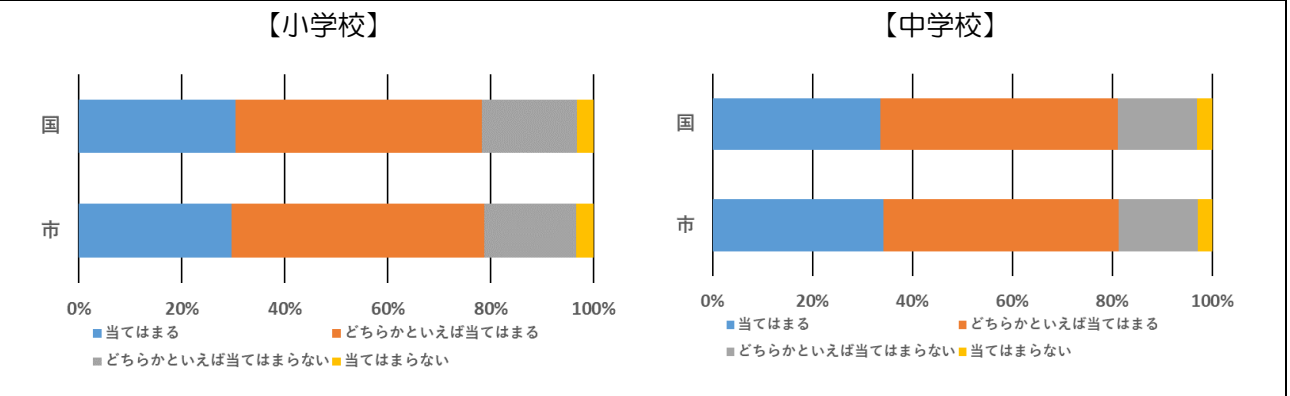
児童生徒が自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いて疑問点を問い直したりするなど、互いに学び合うことを通して理解をさらに深められるよう、指導改善に努めます。

児童生徒質問紙調査結果の概要

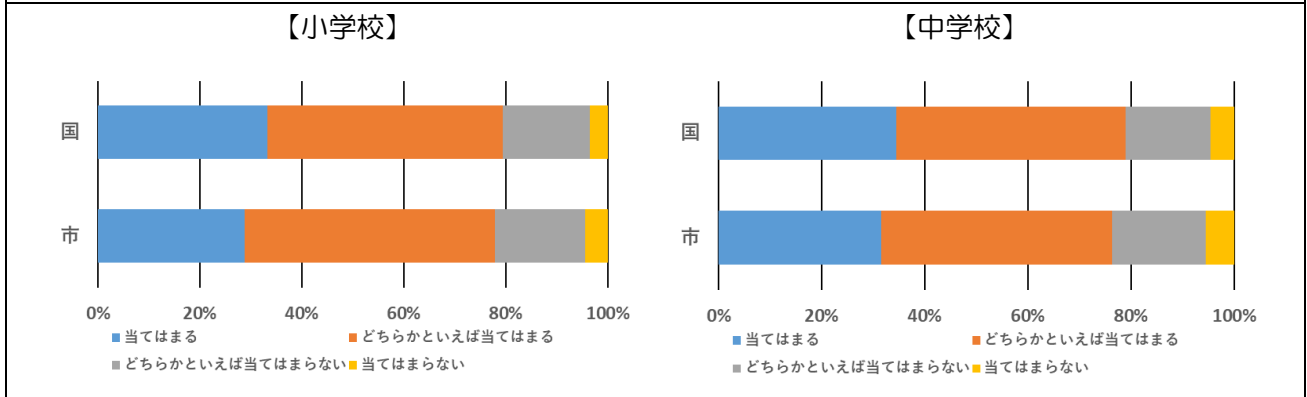
◆主体的・対話的で深い学びの視点による学習への取組状況等

学びに向かう姿勢について、肯定的な回答をしている割合は、国と比較してほぼ同程度となっており、良好な状況です。各学校においては、学級の友達と関わり合いながら自分の考えを深め、表現する力の育成に努めています。

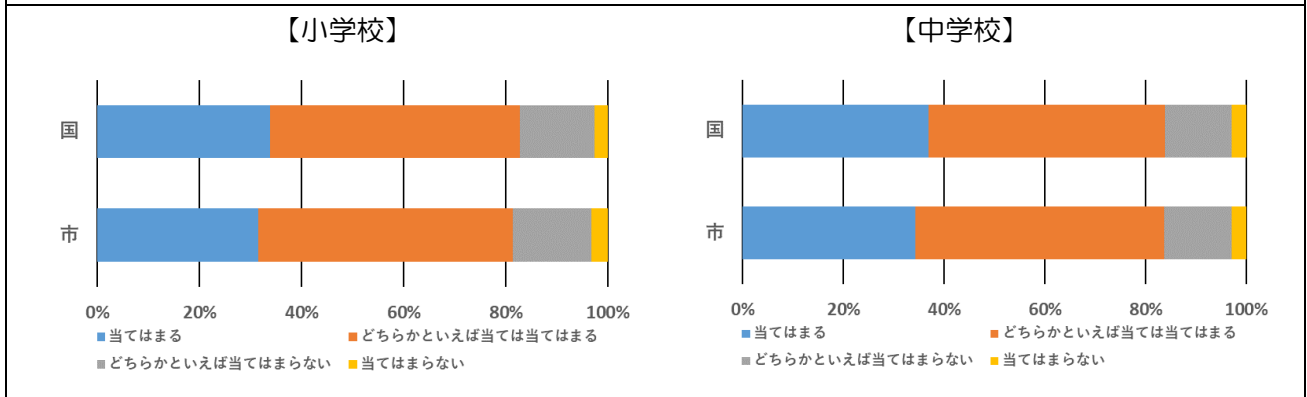
5年生（中学校1，2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



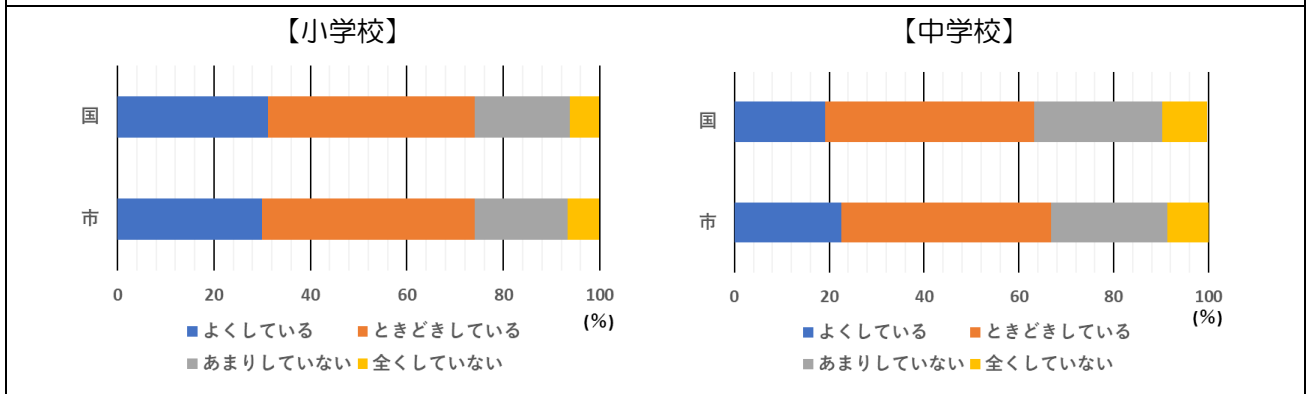
5年生（中学校1，2年生）までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかり伝えていましたか



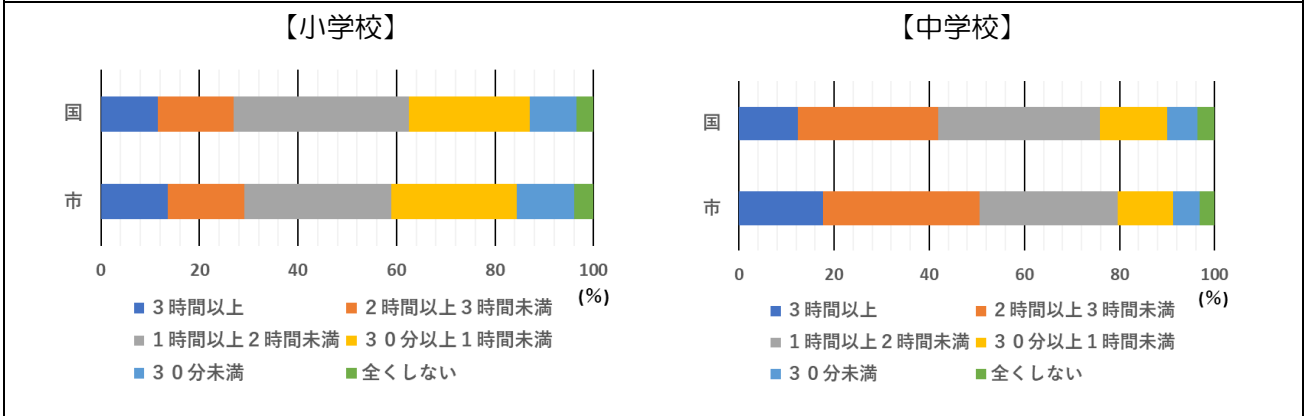
◆家庭学習への取組状況

柏市の児童生徒は、自分で計画を立てて勉強している割合が、小学校は、国と比較してほぼ同程度、中学校は国より高くなっています。また、2時間以上家庭学習をしている割合が国と比較して多い傾向が見られます。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)

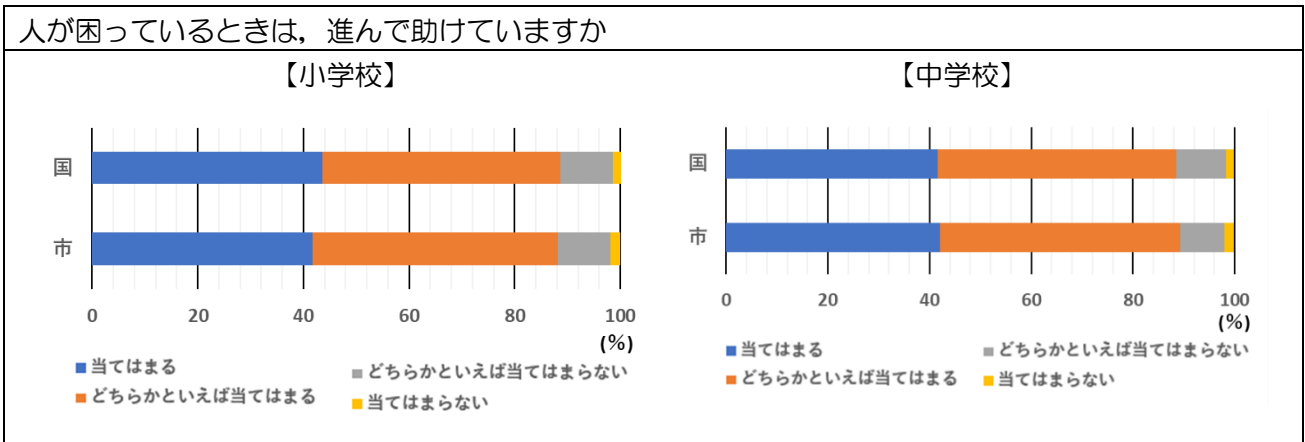
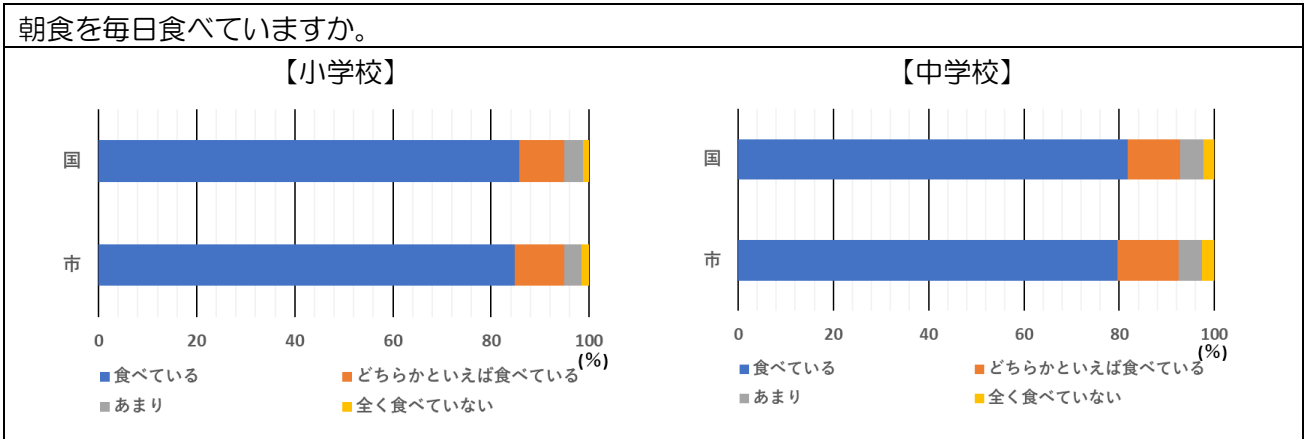


学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



◆基本的な生活習慣

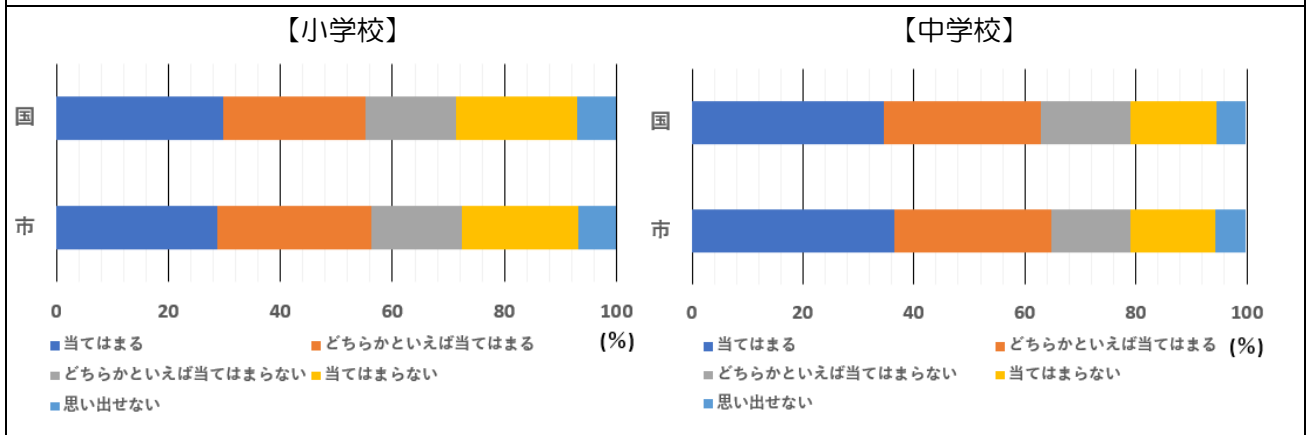
「朝食を毎日食べているか」の質問は、国とほぼ同等の結果でした。各学校においては、引き続き健康と食への関心を高める指導を推進していきます。人への助けについても国とほぼ同等の結果でした。教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養っていきます。



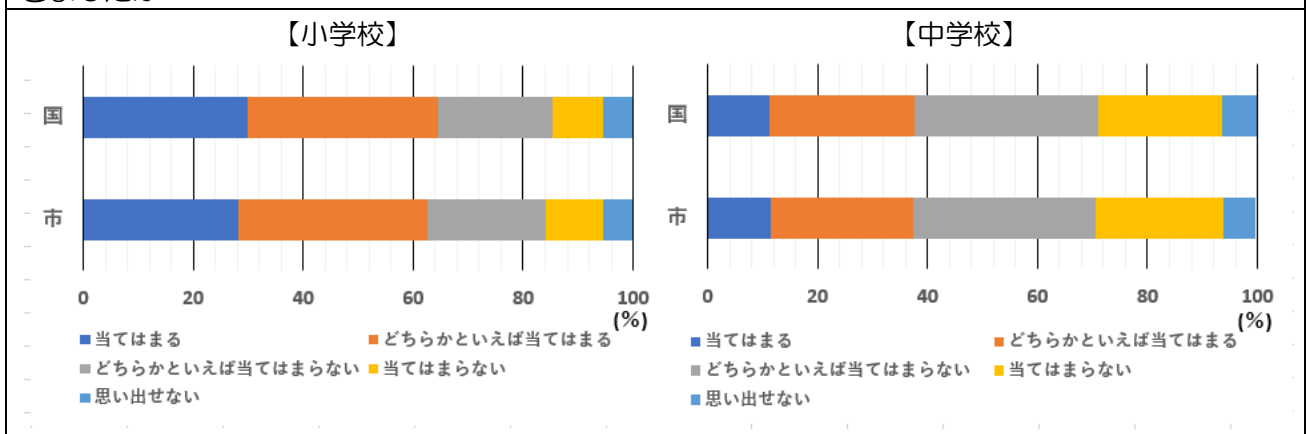
◆新型コロナウイルス感染症の影響

休校期間中に多くの児童生徒が勉強について不安を感じていたことがわかります。学習面や生活面は、全国とほぼ同等の結果でした。今後も、児童生徒の学びを止めないための対策をしっかりと行い、学びの場を保障していくよう努めていきます。

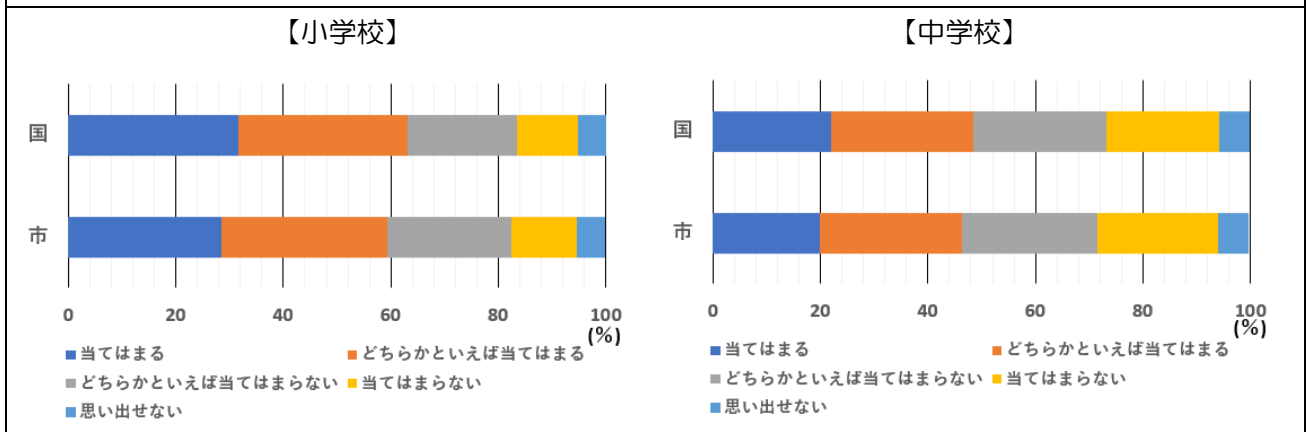
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか



新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか



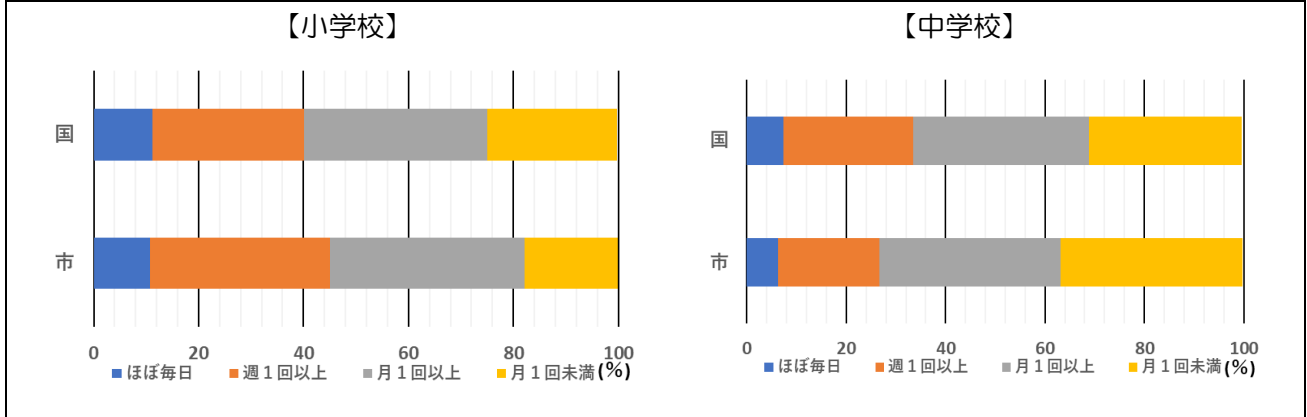
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか



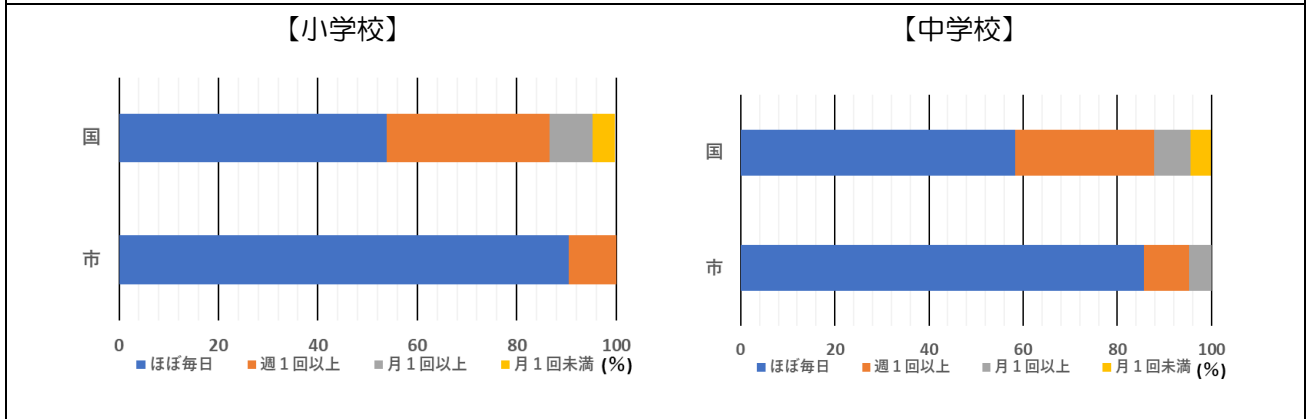
◆ICT を活用した学習状況

教員の ICT 機器を使う頻度は、全国に比べて非常に高い値となっています。一人一台端末が今年度から始まり、今後児童生徒のコンピュータの使用頻度は増えていき、個別最適な学びが促進されていきます。

5年生（1，2年生）までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。



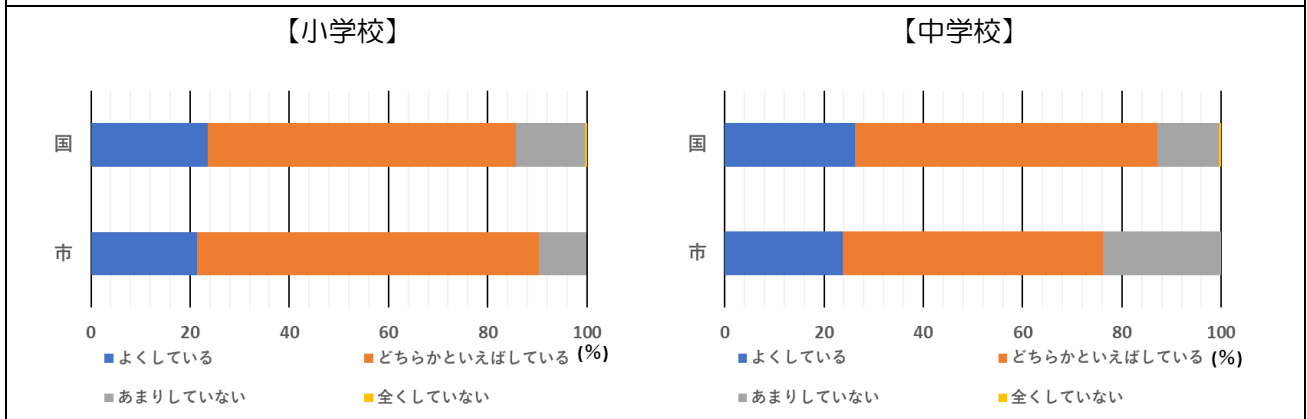
前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター，電子黒板など）などのICT機器を活用した授業を，1クラス当たりどの程度行いましたか（※学校質問紙調査から）



◆家庭や地域との連携

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指した組織づくりに取り組んでいくために、引き続き地域・家庭との連携・協働を大切にしていきます。

教育課程の趣旨について，家庭や地域との共有を図る取組をしていますか（学校質問紙調査から）



※ 全国学力・学習状況調査の分析結果について

本調査は必ずしも過去の学習内容全体を網羅するものではなく、把握できるのは、あくまでも個々の学力の特定の一部であることを申し添えます。

★ 柏市教育委員会の学力向上への取組について

柏市教育委員会では、児童生徒の毎年の状況を継続的に把握するため、平成24年度から独自に小学校2年生から中学校3年生までを対象とした柏市学力・学習状況調査（以下柏市調査と表記）を実施しています。

柏市教育委員会における学力向上への取組につきましては、柏市調査の結果分析を踏まえて計画・実施していますので、その詳細は「(令和3年度) 柏市学力・学習状況調査結果報告及び改善案『学び続ける力の育成』」をご覧ください。

(<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/272000/p037779.html>)